

1 目 的

水道事業及び下水道事業の中期経営計画の各事業を着実に推進するとともに、堅実な事業運営を行うため、下記の事項について、外部の視点からの客観的・専門的な助言や意見を頂き、事業運営の参考とする。

- (1) 中期経営計画の進捗管理
- (2) 主な事業の取組状況 など

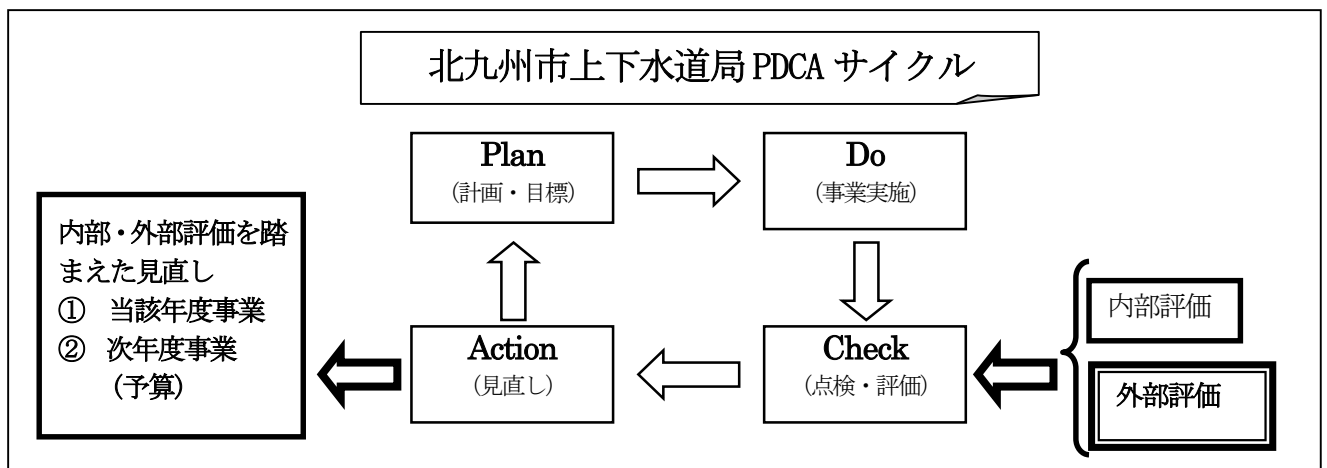
2 会 議

- (1) 原則年2回開催する。
- (2) 事業の進捗管理、主な事業の取組状況、決算、予算等を説明し討議する。

◆ 事業の進捗管理

中期経営計画の進捗管理は、PDCAサイクルを用いて内部及び外部評価をする。

- (1) Plan【計画・目標】：中期経営計画に基づき各事業の目標を設定
- (2) Do【事業実施】：目標の実現に向け事業を推進
- (3) Check【点検・評価】：事業の進捗を把握し内部及び外部評価を実施
- (4) Action【見直し】：内部・外部評価を踏まえた事業を見直し改善策を策定
当該年度事業及び次年度事業（予算）に反映。



◆ 進捗管理のスケジュール

年度	月	前年度評価	当該年度評価	次年度評価
29年度	6月			
	7月			
	8月	第1回事業検討会		
	11月	前年度事業評価 (内部評価)		
	12月	第2回事業検討会 (外部評価)		
	1月	内部・外部評価を踏まえた見直し		
	2月		当該年度事業の実施	次年度の計画・予算策定
30年度	4月			事業実施

平成 29 年度予算について

【経営方針】

上下水道局では、平成 28 年 4 月に策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画（計画期間：平成 28～32 年度）」に基づき、着実に事業を推進することで市民サービスの水準を確保しつつ、上下水道料金の現状維持に努めます。

具体的には安全・安心なまちづくりの推進のため、老朽管・施設の計画的な更新、耐震化、さらには「連携中枢都市ビジョン」に掲げる上下水道事業の広域化への取り組みを強化します。

また、平成 30 年度には下水道事業が 100 周年を迎えることから、そのプレイベントなど様々な機会を通じて、下水道の果たす役割について市民への PR 事業を実施します。

■ 重点的に取り組むもの

- 災害等の危機管理対策
- 経年化施設の更新・長寿命化
- 安全・安心でおいしい水の供給
- 環境負荷の低減
- 国内外に貢献する上下水道

【主要事業】

（1）災害時の危機管理対策

大規模な災害などが発生した場合でも、安全で安定的な給水や下水処理を行えるよう、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化を推進します。また、近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害の危険性が高まっていることから、浸水に対する安全度の向上を図ります。

継続

■ 水道の震災対策推進事業 5,858,292 千円

地震などの災害に対して、被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、水道管路や浄水場・配水池の耐震化を計画的に実施するとともに、送水管の 2 条化整備などによるバックアップ機能の強化にも取り組みます。

・ 浄水場・配水池の耐震化 361,868 千円

穴生浄水場や別所配水池の耐震化工事など

・ 水道管路の耐震化 4,950,000 千円

配水管等の耐震化

・ バックアップ機能の強化 546,424 千円

井手浦系配水本管 L=70m など

拡充	■下水道の震災対策推進事業 2,400,000千円 (うち拡充分100,000千円) 地震などの災害に対して、被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、ポンプ場の耐震化を計画的に実施するとともに、緊急性の高い重要な管渠の耐震化にも取り組みます。 ・ポンプ場の耐震化 1,040,329千円 城野ポンプ場耐震補強工事など ・下水道管渠の耐震化 1,359,671千円 門司港新町遮集幹線管渠更生、井堀西港主要幹線管渠更生 千防三丁目管渠更生、大字修多羅地内外管渠更生など
継続	■豪雨対策推進事業 3,600,000千円 (合流改善事業の一部を含む) 近年の集中的な豪雨など雨の降り方の変化により、市内でも浸水被害の危険性が高まっていることを踏まえ、雨に強いまちをつくるため、浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度の向上を図ります。 下吉田一丁目・曾根新田14号・沼南雨水幹線、 真名子二丁目地内雨水排水ポンプなど
新規	■寒波対策事業 11,495千円 －2℃以下の寒波予報が出された場合に、高台地区にある空き家の元栓を閉めます。加えて、宅地内水道管の点検・診断業務を漏水調査に併せて行い、未然に漏水を防止します。 ・空き家漏水防止対策 ・宅地内水道管の点検・診断業務

(2) 経年化施設の更新・長寿命化

高度経済成長期に整備した施設の多くが更新時期を迎えることから、可能な限り長寿命化を図ります。また、更新に際しては、将来需要を考慮しながら、施設規模と機能の最適化を図り、重要度・優先度を踏まえた効率的・計画的な更新を行います。

拡充	■水道施設の改築更新事業【一部再掲】 6,614,500千円 (うち拡充分165,431千円) 経年劣化が進んでいる導送配水管や電気・機械設備機器等の浄水施設の更新を計画的に行います。 ・配水管等の更新《再掲》 4,950,000千円 配水管更新(L=50.0km)、導送水管更新(L=1.9km) ・浄水施設等の更新 1,664,500千円 本城浄水場および穴生浄水場中央監視制御設備更新工事 など
拡充	■工業用水道施設の改築更新事業 713,357千円 (うち拡充分164,259千円) 経年劣化が進んでいる工業用水道管や電気設備等の更新を行うとともに耐震化を推進し、安定給水の向上を図ります。
継続	■下水道施設の改築更新事業 3,700,000千円 財政的制約の中で、下水道の機能を将来にわたり、安定かつ継続的に確

保するため、下水道施設を適切に維持管理し、施設の状況を的確に把握しながら、適宜施設の改築更新を進めます。

皇后崎浄化センター中央監視設備改築工事
藤田ポンプ場電気計装設備改良工事 など

(3) 安全・安心でおいしい水の供給

いつでも安全で良質な水道水をお届けできるよう、水源水質の保全や直結給水の普及促進などに取り組みます。

継続	■アクアフレッシュ事業	16,000千円
	子供たちの直接蛇口から水を飲む文化を育むため、市立小中学校等の直結式給水への切り替えを促進します。	
継続	■遠賀川の水質改善対策	9,600千円
	遠賀川流域の水質・環境の改善を図ることを目的とする住民団体等による環境保全活動などに対して支援を実施します。	

(4) 環境負荷の低減

水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します。

継続	■合流式下水道の改善推進	2,300,000千円
	下水道法施行令で定められた期限（平成35年度末）までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくれます。	
	桜町北湊雨水貯留管、天籟寺初音町主要幹線 牧山川雨水幹線、東中島ポンプ場滞水池 など	
継続	■省エネルギー対策整備事業	29,479千円
	省エネ機器の導入や送水ポンプの適正化などにより、エネルギーロスを減らし消費電力の削減を図ります。	
	・送水ポンプ等更新工事 など	
新規	■水道メーター再資源化事業	3,000千円
	本城リサイクルプラザを活用し、使用できなくなった水道メーターを分解・選別した上で、再資源化を図ります。	

(5) 国内外に貢献する上下水道

本市の持つ高い上下水道技術を積極的に国内外で活用するとともに、上下水道事業の広域化や海外水ビジネスを通じて、国内外の上下水道に関する課題解決や地域産業の振興に貢献します。

継続	■水道事業の発展的広域化	968,974千円
	発展的広域化による連携を推進するため、周辺地域を「北部福岡地域」「遠賀川流域地域」「市南部地域」「市東部地域」の4ブロックに分けて、関係機関等との広域連携の検討などを進めると同時に、広域化についてのセミナーを開催します。	
	平成28年度から開始した宗像地区事務組合の水道業務の包括受託では、引き続き、宗像地区事務組合の負担で水道施設の運転や維持管理、料金徴収などを実施します。	

- ・宗像地区水道施設維持管理等業務委託
- ・**新** 広域セミナー など

継続

■ 海外事業の展開

160,961千円

アジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受け入れによって、現地の技術者の育成に貢献するとともに、国際技術協力を通じて、本市職員の技術の継承や実務能力の向上などの人材育成にも寄与します。

また、「(株)北九州ウォーターサービス」や「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との連携を図り、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援します。併せて、水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信します。

新規

■ 下水道 100 周年記念事業(プレ 100 周年) 12,080千円

平成 30 年度に、下水道事業に着手して 100 周年を迎えることから、記念事業などを通じて、お客様に下水道の果たす役割や重要性について理解を深めていただき、下水道事業のさらなる発展につなげます。平成 29 年度は、「プレ 100 周年」として、「下水道 100 周年」を積極的に P R していきます。

また、地元の高校生を対象に、市内の上下水道施設の見学・研修や姉妹都市であるカンボジア国での現地視察・人的交流などを行うことで、上下水道事業に対する理解促進を図ります。

- ・**新** 下水道 100 周年記念事業(プレ 100 周年)
- ・**新** 上下水道ユース人材理解促進事業

平成29年度予算

【水道事業】

(単位：百万円)

項 目		28年度予算 (A)	29年度計画 (B)	29年度予算 (C)	前年度比 (C) - (A)	計画比 (C) - (B)
収 益 的 収 支	収 入 ①	20,699	20,539	20,552	△ 147	13
	料金収入（原水除く）	15,654	15,533	15,557	△ 97	24
	その他	5,045	5,006	4,995	△ 50	△ 11
	支 出 ②	19,369	19,320	19,303	△ 66	△ 17
	人件費	3,007	2,975	2,717	△ 290	△ 258
	維持管理費	3,199	3,240	3,193	△ 6	△ 47
	減価償却費等	7,724	7,842	7,875	151	33
	企業債利息	1,227	1,117	1,108	△ 119	△ 9
	その他	4,212	4,146	4,410	198	264
	収 支 差 引 ③ (①-②)	1,330	1,219	1,249	△ 81	30
資 本 的 収 支	収 入 ④	5,327	5,366	5,710	383	344
	企業債	3,350	3,560	3,823	473	263
	補助金	1,000	1,000	1,030	30	30
	その他	977	806	857	△ 120	51
	支 出 ⑤	13,374	13,511	13,456	82	△ 55
	施設整備費	8,030	8,499	8,270	240	△ 229
	企業債償還金	3,368	3,153	3,238	△ 130	85
	その他	1,976	1,859	1,948	△ 28	89
	差 引 過 不 足 ⑥ (④-⑤)	△ 8,046	△ 8,145	△ 7,746	300	399
	補 填 財 源 ⑦	7,849	8,092	7,544	△ 305	△ 548
資金収支	単年度資金収支 ⑧ (⑥+⑦)	△ 197	△ 53	△ 202	△ 5	△ 149
	累積資金剰余 ⑨	5,433	4,899	5,230	△ 203	331
	基金残高 ⑩	1,994	1,998	1,995	1	△ 3
	累積資金剰余（基金含む） ⑨+⑩	7,427	6,897	7,225	△ 202	328
企 業 債 残 高		60,555	61,577	61,140	585	△ 437

平成29年度予算

【下水道事業】

(単位：百万円)

項 目		28年度予算 (A)	29年度計画 (B)	29年度予算 (C)	前年度比 (C) - (A)	計画比 (C) - (B)
収 益 的 収 支	収 入 ①	28,263	28,307	28,284	21	△ 23
	下水道使用料	15,452	15,305	15,382	△ 70	77
	一般会計繰入金	6,508	6,737	6,501	△ 7	△ 236
	その他	6,303	6,265	6,401	98	136
	支 出 ②	27,910	28,252	27,942	32	△ 310
	人件費	1,069	1,165	1,031	△ 38	△ 134
	維持管理費	5,933	5,911	5,932	△ 1	21
	減価償却費等	16,376	16,855	16,703	327	△ 152
	企業債利息	3,149	3,001	2,883	△ 266	△ 118
	その他	1,383	1,320	1,393	10	73
	収 支 差 引 ③ (①-②)	353	55	342	△ 11	287
資 本 的 収 支	収 入 ④	13,895	12,550	12,924	△ 971	374
	企業債	6,813	6,069	6,209	△ 604	140
	補助金	4,113	4,094	4,173	60	79
	その他	2,968	2,387	2,542	△ 426	155
	支 出 ⑤	25,025	23,821	24,344	△ 681	523
	施設整備費	11,600	11,400	11,488	△ 112	88
	企業債償還金	10,442	9,483	9,583	△ 859	100
	その他	2,983	2,937	3,273	290	336
	差 引 過 不 足 ⑥ (④-⑤)	△ 11,130	△ 11,271	△ 11,420	△ 290	△ 149
	補 填 財 源 ⑦	10,917	11,042	11,065	148	23
資金収支	単年度資金収支 ⑧ (⑥+⑦)	△ 213	△ 229	△ 355	△ 142	△ 126
	累積資金剰余	2,391	2,162	2,525	134	363
企 業 債 残 高		162,036	163,663	158,661	△ 3,375	△ 5,002

平成29年度予算

【工業用水道事業】

(単位：百万円)

項 目		28年度予算 (A)	29年度計画 (B)	29年度予算 (C)	前年度比 (C) - (A)	計画比 (C) - (B)
収 益 的 収 支	収 入 ①	1,832	1,850	1,846	14	△ 4
	料金収入	1,537	1,555	1,550	13	△ 5
	その他	295	295	296	1	1
	支 出 ②	1,613	1,600	1,595	△ 18	△ 5
	人件費	249	264	224	△ 25	△ 40
	維持管理費	316	297	319	3	22
	減価償却費等	621	608	604	△ 17	△ 4
	企業債利息	56	59	57	1	△ 2
	その他	371	372	391	20	19
	収 支 差 引 ③ (①-②)	219	250	251	32	1
資 本 的 収 支	収 入 ④	703	239	358	△ 345	119
	企業債	572	123	227	△ 345	104
	補助金	45	45	45	0	0
	その他	86	71	86	0	15
	支 出 ⑤	1,289	1,165	1,191	△ 98	26
	施設整備費	931	719	818	△ 113	99
	企業債償還金	231	224	234	3	10
	その他	127	222	139	12	△ 83
	差 引 過 不 足 ⑥ (④-⑤)	△ 586	△ 927	△ 833	△ 247	94
	補 填 財 源 ⑦	603	631	627	24	△ 4
資金収支	単年度資金収支 ⑧ (⑥+⑦)	16	△ 295	△ 206	△ 222	89
	累積資金剰余 ⑨	1,775	1,485	1,569	△ 206	84
企 業 債 残 高		2,638	2,691	2,631	△ 7	△ 60

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標			設定目標	最終 目標 年度	最終 成果 目標	H29 成果目標 (累計もしくは単年度)	H29 取組内容 (単年度)
施策番号 重点施策	実施事業						
(課題1) 災害等の危機管理対策 ～安全で快適な暮らしを支えます～							
1 震災対策の 拡充・強化	01	浄水場・配水池 の耐震化	浄水施設耐震化率	H32	59.2%	33.2%	穴生浄水場施工1箇所 実施設計1箇所
			配水池耐震施設率	H32	54.1%	48.3%	山ノ岬・別所配水池 施工
			危険箇所整備	H32	3箇所	2箇所	設計施工1箇所
	02	水道管路の耐震化	基幹管路の耐震化率	H32	47.6%	45.0%	導送水管1.9km 配水管50km
			災害拠点病院（7箇所）への 配水管の耐震化	H32	完了	工事施工（12.1%）	工事施工（12.1%）
			初期給水拠点（17箇所）への 配水管の耐震化	H32	10箇所	工事施工（30.0%）	工事施工（23.0%）
	03	バックアップ機能 の強化	安定給水向上人口 （井手浦系ループ化）	H32	12.3万人	0万人 工事施工（29.0%）	0万人 工事施工（15.0%）
			安定給水向上人口 （小森江系2条化）	H30	5.9万人	0万人 工事施工（61.7%）	0万人 工事施工（26.0%）
	04	浄化センター・ ポンプ場の耐震化	ポンプ場の耐震化	H36	6箇所	6箇所	6箇所
	05	下水道管渠の耐震化 (特に緊急性の高い管渠)	第1期計画107kmの耐震化	H29	完了	107km完了	24.2km
			第2期計画	H29	策定	策定	策定
			第2期計画に基づく耐震化	H30 ～ H32	実施	—	—
	06	災害時における機能 確保の推進 (マンホールトイレ の整備等)	マンホールトイレ整備	H32	各区 1箇所 程度	4箇所	2箇所
			圧送管の2系統化	H32	完了	工事竣工	工事竣工
2 豪雨対策の 拡充・強化	01	浸水被害の最小化	雨水整備率	H32	73.0%	72.1%	0.4%
	02	合流地区の治水 安全度の向上	過去に浸水が発生した地区の雨水整備	H32	10地区	2地区	1地区
	03	小倉都心部の重点整備	供用開始	H32	5地区	3地区	2地区
			水防活動訓練	毎年度	1回	1回	1回
3 危機管理 体制の 充実・強化	01	事故対応能力の向上	模擬事故訓練（局全体1回、 水道2回、下水道2回）	毎年度	実施	実施	実施
			危機管理研修 （水道3回、下水道1回）	毎年度	実施	実施	実施
			寒波対策の充実	毎年度	実施	空き家の漏水 防止対策	宅地内水道管点検・診断 空き家の漏水防止対策
	02	応急給水能力の向上	配水管整備	H32	7箇所	基本設計 設計2箇所	設計2箇所
			仮設水槽	H29	40個	40個	16個
			非常用飲料水袋（6㍓）	H32	50,000 枚	38,000枚	8,000枚
	03	ハードを活かすソフト施策 の充実（IT技術の活用等）	効果検証、全市への適用を評価 浸水シミュレーション	H32	実施	実施	実施

■ 共通事業
 ■ 水道事業
 ■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標			設定目標	最終 目標 年度	最終 成果 目標	H29 成果目標 (累計もしくは単年度)	H29 取組内容 (単年度)
施策番号 重点施策	実施事業						
(課題2) 経年化施設の長寿命化・更新 ～将来にわたって使い続けられるように、上下水道の機能を維持します～							
1 アセットマ ネジメン ト手法を 活用した 効率的・計 画的な更新	01	上下水道施設の 長寿命化	浄水場施設の長寿命化	H32	6箇所	補修・2箇所	補修・2箇所
			配水池の長寿命化	H32	5箇所	補修・補強 1箇所	補修・補強 1箇所
			下水道管の点検・調査	毎年度	平均 90km	平均90km	90km
			浄化センター・ポンプ場 第2期計画	H28	策定	—	—
			浄化センター・ポンプ場 第2期計画 に基づく補修・補強	H32	実施	実施	実施
	02	水道・工業用水道施設の 改築更新	導送水管更新	H32	11.3km	2.5km	1.9km
			配水管更新	H32	250 km	100.9km	50km
			工業用水道管更新	H32	5.1 km	1.4km	0.7km
			浄水場設備更新	H32	実施	更新計画に基づき 工事施工	更新計画に基づき 工事施工
			中央監視制御設備更新	H32	完了	1箇所起工	穴生中央監視制御 設備更新工事起工
			配水管理システム更新	H30	完了	サーバー整備 ソフトウェア作成 路上局の改良	サーバー整備 ソフトウェア作成 路上局の改良
	03	下水道施設の改築更新	大口径管の更新	H32	8.7 km	4km	2.3km
			小口径管の更新	H32	91.9 km	47.2km	33.9km
			長寿命化計画に基づく 設備機器更新	H32	実施	実施	実施
2 有収率向上 対策	01	漏水防止対策の推進	漏水率	H32	6% 以下	6% 以下	配水管更新50km/年 調査延長4,000km/ 年
			漏水発見件数	毎年度	1,000件	1,000件	
	02	配水ブロックの改善	低区配水ブロック への編入	H32	5地区	1地区	1地区
			小森江系配水ブロック の再編	H32	9.0km 削減	更新対象管路延長の削 減 0.5Km	ブロック再構築
(課題3) 安全・安心でおいしい水の供給 ～いつでも安全で良質な水道水をお届けします～							
1 水源から 蛇口までの 水質向上	01	遠賀川の水源水質改善	流域活動団体への支援	毎年度	40団体	40団体	40団体
			関係機関への提案	毎年度	2提案	2提案	2提案
	02	水源林の保全	水源地での植樹・育樹活動 (市民参加人数)	毎年度	480人 以上	480人以上	480人以上
	03	安全でおいしい水対策	水安全計画の運用、 残留塩素低減化	毎年度	実施	平均残留塩素濃度からみ たおいしい水達成率80% 以上	平均残留塩素濃度からみ たおいしい水達成率80% 以上
2 蛇口から 新鮮な水 を飲める 水道	01	直結式給水の普及促進	3階以上の直結式給水率	H32	49%	43%	2%
			直結式給水の実施(学校)	H32	5校 以上	3校	2校
	02	小規模貯水槽水道 の管理指導	管理指導	毎年度	1,000件 以上	1,000件 以上	1,000件 以上

■ 共通事業
 ■ 水道事業
 ■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標		設定目標	最終 目標 年度	最終 成果 目標	H29 成果目標 (累計もしくは単年度)	H29 取組内容 (単年度)	
施策番号 重点施策	実施事業						
(課題4) 環境負荷の低減 ～水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します～							
1 環境に やさしい 保全活動 の推進	01	水源林の保全 (再掲)	水源地での植樹・育樹活動 (市民参加人数)	毎年度	480人 以上	480人 以上	480人 以上
	02	合流式下水道の改善推進	合流改善達成率	H32	77%	54.5%	7.4%
			桜町北湊雨水貯留管	H30	供用開始	工事竣工	工事竣工
			東中島ポンプ場雨水滞水池	H31	供用開始	工事中	工事中
			第4期合流式下水道 緊急改善計画	H30	策定	第4期計画策定	第4期計画策定
	03	宅地内の分流化 の促進	宅地内排水設備の切替促進	毎年度	実施	実施	実施
	04	水質監視強化 (放流負荷量 の削減等)	放流水質の基準違反	毎年度	0件	0件	0件
			事業場立入指導件数	毎年度	200件 以上	200件 以上	200件 以上
			管理対象化学物質(47物質) の実態把握	毎年度	実施	実施	実施
	05	地区の特徴を 踏まえた水循環の再生 (街なかの水辺再生等)	雨水調整池の整備	H32	2箇所	1箇所	工事施工
2 地球温暖化 対策・資源 の リサイクル 事業の推進	01	自然エネルギーの活用	水道の再生エネルギー利用率	毎年度	15% 以上	15% 以上	15% 以上
	02	省エネルギーの推進	[水道] 電力使用量	毎年度	過去5年 平均以下	過去5年 平均以下	過去5年 平均以下
			[下水道] エネルギー消費 (H18比)	H32	10% 削減	9.4% 削減	0.4% 削減
	03	汚泥の有効利用	汚泥の有効利用率の維持	毎年度	100%	100%	100%
	04	直結式給水の普及促進 (再掲)	3階以上の直結式給水率	H32	49%	43%	2%
			直結式給水の実施(学校)	H32	5校 以上	3校	2校

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標		設定目標	最終 目標 年度	最終 成果 目標	H29 成果目標 (累計もしくは単年度)	H29 取組内容 (単年度)	
施策番号 重点施策	実施事業						
(課題5) 国内外に貢献する上下水道 ～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～							
1 本市が持つ 技術力・ 経験を 活かした 国際貢献	01	上下水道技術の国際協力	研修員受入人数	毎年度	255人	255人	255人
			職員派遣人数	毎年度	20人	20人	20人
	02	海外水ビジネスの推進	海外水ビジネスの受注と 地元企業の振興	毎年度	推進	推進	推進
			海外水ビジネスを通じた 国際貢献	毎年度	推進	推進	推進
	03	外郭団体等の 更なる活用（再掲）	市内企業、（株）北九州ウォーターサービス との一層の連携強化	毎年度	推進	推進	推進
2 多様な形態 による 広域連携	01	上下水道事業の発展的 広域化	包括業務委託の受託	毎年度	継続	受託継続	受託継続
			技術研修などへの周辺自治体 職員の受入	毎年度	実施	実施	実施
			多様な形態による広域連携の 検討・協議	毎年度	実施	水道広域セミナー等開催	水道広域セミナー等開催
			汚水処理などの実現可能性の調査	H32	1都市 程度	検討中	検討中
	02	外郭団体等の 更なる活用（再掲）	市内企業、（株）北九州ウォーターサービス との一層の連携強化	毎年度	推進	推進	推進
3 地域に 親しまれる 上下水道	01	お客さまに開かれた 広報・広聴活動 の推進 (施設開放、モニター、 環境学習支援等)	お客さま満足度（お客さまアンケート調査）	H31	75% 以上	—	—
			お客さま満足度（上下水道モニターアンケート調査）	毎年度	80% 以上	80% 以上	80% 以上
			お客さまからの苦情件数の減少率（H26比）	毎年度	5% 以上	5% 以上	5% 以上
	02	産学官連携による 研究開発の推進	[水道] 効率的な漏水探知システムの開発	H32	実施	実証実験の実施	実証実験の実施
			[下水道] 企業等との共同研究など	H32	5件 以上	1件	2件
	03	下水道100周年 記念事業	下水道展誘致など	H30	実施	記念事業準備 100周年の事前PR	記念事業準備 100周年の事前PR

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標		設定目標	最終 目標 年度	最終 成果 目標	H29 成果目標 (累計もしくは単年度)	H29 取組内容 (単年度)
施策番号 重点施策	実施事業					
(課題6) 収支バランスを踏まえた経営基盤の強化 ～事業を支える「人・モノ・カネ」の経営基盤の強化に努め、安価な料金を維持します～						
1 効率的な 事業運営	01 施設規模の最適化	[水道] 最適化の施策を計画 に反映	H32	実施	将来水需要予測を検証	将来水需要予測を検証
		[下水道] 国土交通省の同意取得	H32	実施	—	—
	02 上下水道施設の 長寿命化（再掲）	浄水場施設の長寿命化	H32	6箇所	補修・2箇所	補修・2箇所
		配水池の長寿命化	H32	5箇所	補修・補強2箇所	補修・補強2箇所
		下水道管の点検・調査	毎年度	平均 90km	平均90km	90km
		浄化センター・ポンプ場 第2期計画	H28	策定	策定	—
		浄化センター・ポンプ場 第2期計画 に基づく補修・補強	H32	実施	実施	実施
	03 経費の節減 （支払利息の軽減等）	経費節減（H27比）	H32	9億円 以上	10.8 億円	10.8 億円
04 外郭団体等の 更なる活用	市内企業、（株）北九州ウォーターサービス との一層の連携強化	毎年度	推進	推進	推進	
2 多様な収入 の確保	01 上下水道の資産・資源 の有効活用	収入増（H27比）	H32	約1億円	0.5 億円	0.5 億円
	02 上下水道事業の発展的 広域化（再掲）	包括業務委託の受託	毎年度	継続	受託継続	受託継続
		技術研修などへの周辺 自治体職員の受入	毎年度	実施	実施	実施
		多様な形態による広域連携の 検討・協議	毎年度	実施	水道広域セミ ナー等開催	水道広域セミ ナー等開催
		汚水処理などの実現可能性の調査	H32	1都市 程度	検討中	検討中
03 水道・工業用水道利用 促進対策	新規・増量開拓件数	H32	5件 以上	6 件	4 件	
3 職員の 育成と活用	01 上下水道技術の 継承・人材の育成	表彰制度の活用	毎年度	5名 以上	5名 以上	5名 以上
		職員資格取得度	H32	2.0 件/人	2.0 件/人	2.0 件/人

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

報道機関各位

本市水道事業が平成29年度優良地方公営企業総務大臣表彰を受賞

この度、本市水道事業が「平成29年度優良地方公営企業総務大臣表彰」を受賞することが決まりましたのでお知らせします。

この総務大臣表彰は、地方公営企業（地方公営企業法適用）を対象に、経営の健全性が確保され、かつ、他の地方公営企業の模範となる取組みを行っている公営企業に対して授与されるものです。

平成29年度の優良地方公営企業総務大臣表彰の選定にあたり、本市水道事業の取組内容が評価されたものです。

なお、本市の公営企業が総務大臣表彰を受賞したのは、平成27年度の工業用水道事業に続き2例目となります。

また、表彰式が下記のとおり開催されますので、併せてお知らせします。

＜評価項目＞

- 広域化の取組として近隣市町村への水道用水供給事業を行ってきたことに加えて、県内の事務組合から包括業務を受託することで事業体支援を実施していること。
- アセットマネジメント手法を活用した更新・長寿命化計画に基づく経営戦略により事業を運営中であること。

1 選定方法

総務省内に設置される有識者会議の意見聴取及び地方公営企業大臣表彰審査会に付議され決定

2 表彰式

- (1) 日 時 平成29年7月21日（金）16：40～17：50
- (2) 場 所 アジュール竹芝 13階「飛鳥」（東京都港区海岸1-11-2）
- (3) 本市出席者 水道事業管理者 上下水道局長 有田 仁志
- (4) 選考及び被表彰企業の概要 添付資料のとおり（※総務省報道資料）
- (5) そ の 他 受賞式の状況は、後日北九州市上下水道局ホームページに掲載予定

【問合せ先】

北九州市上下水道局総務経営部

経営企画課 中村、西田

（TEL 093-582-3135）

（中村携帯 090-8224-3947）

平成29年7月20日

平成29年度優良地方公営企業総務大臣表彰

経営の健全性が確保されており、かつ、他の地方公営企業の模範となる取組を行っている地方公営企業を対象として、総務大臣表彰を行っています。第4回目となる今回の被表彰企業を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

1 被表彰企業

盛岡市上下水道局 (岩手県) (水道事業)
長野県企業局 (長野県) (水道事業)
北九州市上下水道局 (福岡県) (水道事業)
山梨県企業局 (山梨県) (電気事業)

2 表彰式

日時 平成29年7月21日(金) 16:40～17:50
場所 アジュール竹芝 13階「飛鳥」(東京都港区海岸1-11-2)

3 選考について

被表彰企業は、地方公営企業法を適用している地方公営企業のうち、自薦又は他薦された地方公営企業について、経営の健全性や、他の地方公営企業の模範となる取組の実施状況を中心に総合的に判断し決定したものです。

なお、選考に当たっては、有識者会議を開催し意見聴取を実施しています。

(有識者会議)

日時 平成29年6月9日(金)
委員 堀場 勇夫(青山学院大学名誉教授)(座長)
石井 晴夫(東洋大学教授)
石田 直美(日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門プリンシパル)
小西 砂千夫(関西学院大学教授)
辻 琢也(一橋大学副学長)

(添付資料) 選考及び被表彰企業の概要

連絡先総務省自治財政局公営企業課

担当：齋藤、鈴木、伊東

電話：03-5253-5634

FAX：03-5253-5640

選考及び被表彰企業の概要

1 選考について

被表彰企業は、地方公営企業法を適用している地方公営企業のうち、自薦又は他薦された地方公営企業について、以下の観点を中心に総合的に判断し決定したもの。

- ① 経営の健全性が確保されているか
 - 2カ年(直近実績1カ年、直近見込1カ年)以上継続して、
経常利益を計上、資金不足額なし、累積欠損金なし
- ② 他の地方公営企業の模範となる取組が行われているか
 - 経営戦略の策定、料金適正化、広域化、民間的経営手法の導入、
ストックマネジメント、企業債残高管理、情報公開、人材育成 等

2 被表彰企業について

被表彰企業名	取組の概要
盛岡市上下水道局 (水道事業)	○ アセットマネジメントを実践し、今後100年間の更新需要を踏まえた投資・財政計画を中心とする経営戦略を策定するとともに、料金体系の見直しなどの健全経営の取組を実施。 ○ 隣接6市町と研究会を設置し、報告書を取りまとめるなど広域化の検討について着実な進捗がみられる。
長野県企業局 (水道事業)	○ 県内過疎自治体の簡易水道事業について、地方自治法に基づく「事務の代替執行」制度を活用した水道施設整備支援を実施。 ○ アセットマネジメント手法を活用した更新需要予測等に基づく投資・財政計画を経営戦略に反映するとともに、災害・減災対策として避難所等における応急給水拠点(「安心の蛇口」)整備や一人暮らし高齢者の支援策として水道メーターを活用した見守りシステムの実証実験を実施
北九州市上下水道局 (水道事業)	○ 広域化の取組として近隣市町村への水道用水供給事業を行ってきたことに加えて、県内の事務組合から包括業務を受託することで事業体支援を実施。 ○ アセットマネジメント手法を活用した更新・長寿命化計画に基づく経営戦略により事業を運営中。
山梨県企業局 (電気事業)	○ 県営水力発電所で発電した電力を通常の電気料金よりも安価に供給する公営電力の地産地消の取り組みにより、県内の新規立地や既存企業における経営拡大・雇用の創出等を図りつつ、収益を確保している。

平成29年度優良地方公営企業総務大臣表彰受賞式当日（7月21日）の写真



【表彰状】



【表彰状授与】



【記念撮影】



【事例発表】

「北九州市下水道 100 周年記念事業」の概要

『つなげよう次の 100 年へ ～下水道がつくる豊かな水・まち・暮らし～』

記念事業の目的

北九州市の下水道が、平成 30 年に事業着手から 100 周年を迎えることから記念事業を実施

- ◇ 市民の下水道事業に対する理解と協力に感謝するとともに、下水道事業に協力していただいた皆様の「思い」や「技術」を引き継ぎ、下水道のたから(資産)を活かしながら、次の 100 年につなげる
- ◇ 市民に下水道の役割や重要性について理解を深めてもらうための「市民参加型イベント」等を行い、広く下水道事業を P R
- ◇ 国や近隣市町、海外関係都市の協力のもと様々なイベントを展開して連携を強化する
- ◇ 市内外から多く集客し、北九州市の魅力を全国に発信し、にぎわいづくりにつなげる

事業概要

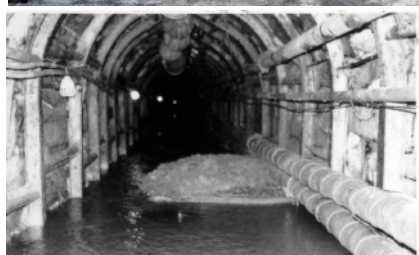
- (1) 実施期間 : 平成 29 年 8 月～平成 30 年度 (平成 29 年度は 100 周年を事前 P R する周知期間)
- (2) コンセプト: 「先人の功績に感謝し、技術やノウハウを未来につなげる」 「下水道の役割や重要性を再認識する」 「国や近隣市町、海外の関係都市との連携を深める」 「北九州市の魅力を発信する」
- (3) キャッチコピー: 『つなげよう次の 100 年へ ～下水道がつくる豊かな水・まち・暮らし～』

I 下水道の歴史を振り返り、市民とともに祝う

- 大正 7 年 7 月に若松市第 1 期事業認可を取得し本市の下水道事業の歴史が始まり、長い歴史の中で下水道の整備が進んだ
- 水環境改善を成し遂げ、安全で快適なまちづくりを支えてきた下水道について、歴史を振り返り、市民の皆様の協力に感謝する

【主な事業】

- ・「100 周年記念式典」の開催 (H30. 7)
- ・ポスターコンテスト、パネル展 (H29～30)
- ・記念誌、記念映像 (H30)
- ・記念デザインマンホールの設置 (H29～30)



II 下水道の役割を伝える

- 下水道は、普段、市民の目に触れることができない施設
- 様々なイベントを通して、各施設を見て、触って、感じていただくことで、市民に下水道の役割や重要性、魅力を伝える機会とする

【主な事業】

- ・下水道施設見学会 (H29～30)
- ・マンホールスタンプラリー、マンホールサミット(誘致協議中)、マンホール広場 (H30)
- ・スウィッピー学校訪問、親子ふれあい教室 (H29～30)
- ・北九州一中津ウーキング大会での P R (H29. 10)
- ・紫川周辺の水辺体験イベント等での P R (H29～30)

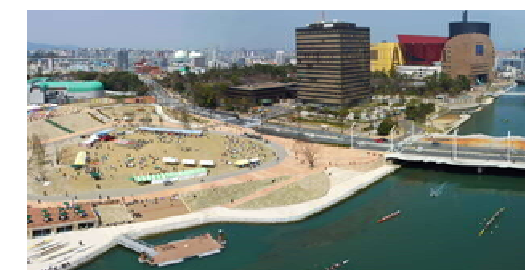


III 未来につなげる

- これからの下水道は、施設の改築更新や浸水対策、地震対策などの様々な課題解決に取り組む必要がある
- そこで、市民生活と下水道のつながりを更に進化させるとともに、近隣市町村や海外とのつながりを強化する
- また、下水道技術者の育成、技術を未来につなげる機会とする

【主な事業】

- ・「下水道展「18 北九州」」の開催 (H30. 7)
- ・国際会議の開催 (H30. 7)
- ・記念講演、シンポジウムの開催 (H30. 7)



北九州市下水道100周年記念事業スケジュール

項目		日程	場所	事業内容
歴史を振り返り、市民とともに祝う	デザインマンホール設置	H29. 8. 19	ミクニワールドスタジアム	下水道PRとギラヴァンツ応援を目的としたデザインマンホール設置
	100周年記念デザインマンホール	H30	各区役所周辺	子ども達（小学生）から募集したポスターをデザインとしたマンホールや北九州市をPRし、まちのにぎわいづくりにつながるデザインマンホールを製作設置
	下水道100周年記念式典	H30. 7. 23	国際会議場	下水道関係者が出席のもと、下水道の歴史を振り返り、100周年を祝う式典及びセレブションを実施
	下水道パネル展	H29～30	市内各所	下水道100年の歩みを振り返る展示会を市内各所(市施設、ショッピングモール等)で開催
	ポスターコンテスト	H29～30	—	小学生から作品を募集、パネル展等で展示。優秀作品は100周年記念式典で表彰し、マンホールのデザインとして採用
下水道100周年記念誌	下水道100周年記念誌	H30	—	下水道100年の歴史をとりまとめた記念誌を作成し、式典等で配布 また記念映像としてとりまとめ、パネル展・式典等で上映
	下水道100周年記念PR映像等			
	紫川周辺の水辺体験イベントと連携した下水道PR	H29. 8. 20(ほか)	紫川周辺	紫川フェスティバルやカヌー体験等紫川の水辺で開催されるイベントにあわせて下水道事業PR
	下水道施設見学会	H29～30	浄化センター等	浄化センター、ポンプ場等下水道主要施設及び桜町北湊雨水貯留管の見学会を実施
	親子ふれあい教室	H29、H30	浄化センター	親子で下水道の役割や重要性を学ぶ教室を開催
下水道の役割を伝える	北九州一中津ウオーキング	H29. 10. 14	紫川周辺等	ゴール地点の紫川周辺で下水道100周年のPRを行う（ブース出展など）
	マンホールススタンプリアリー	H30	市内各所	主要駅や観光施設付近のデザインマンホールを巡るススタンプリアリーを実施 ＊旧5市マンホール、新デザインマンホール等を活用して実施
	マンホールサミット（誘致協議中）	H30	国際会議場	全国的に人気が高まっているデザインマンホールの魅力を伝えるサミットを開催（主催：下水道広報プラットホーム（日本下水道協会））
	マンホール広場整備	H30	日明浄化センター	日明浄化センター内にデザインマンホールを活用した広場を整備
	スィッピー学校訪問授業	H29～30	市内各所	スィッピーが市内の小学校で下水処理の特別講義、100周年をPR
未来へつなげる	下水道展'18の開催(主催：日本下水道協会)	H30. 7. 24～27	西日本総合展示場及び国際会議場	100周年を記念して下水道界最大のイベントである下水道展を誘致 ・ブース展示（約300社） ・併催行事の実施（セミナー、研究発表会、テクニカルツアー等） ・おもてなしコーナーの設置(食との連携)・その他（大都市会議の誘致等） ＊H29年度は下水道展'17東京（H29. 8. 1～4）にも事前PRのために出展
	国際会議(国交省、JICA等関係機関と協議中)	H30. 7	国際会議場	100周年を記念して、北九州市が交流している海外諸都市を招いて、国やJICA等関係機関と連携して国際会議を開催。
	記念講演・シンポジウム	H30. 7. 23	国際会議場	100周年記念式典とあわせて、下水道キーパーソンを招いた記念公演、シンポジウムを開催

平成29年度より実施する事業

同時開催 北九州市下水道100周年PRイベント

北九州市の下水道事業は来年100周年を迎えます
そのPRイベントや北九州周辺の町などが参加した物産展や催しを開催します
↓勝山公園大芝生広場にぜひお立ち寄りください。↓



下水検査ロボット操作体験



水質検査体験



物産販売ブース



名物 小倉焼きうどん



名物 中津からあげ

※写真はイメージです。

北九州-中津ウォーキング大会2017

協賛 (株)アステム、(株)井筒屋、環境・下水道維持管理協同組合、(株)北九州ウォーターサービス、北九州管工事協同組合、北九州管更生工事協同組合、北九州空港利用促進連絡会、(一社)北九州市建設業協会、北九州市建設コンサルタント協会、(一社)北九州GIS測量協会、(一社)北九州電設協会、九州旅客鉄道(株)、(一社)全国上下水道コンサルタント協会九州支部、(株)ゼンリン、(株)ビッグウッド、(株)安川電機 (五十音順)

協力 NPO法人北九州ウォーキング協会、福岡県ウォーキング協会

参加登録証は発行いたしません。必ず振込み用紙の受領証またはATMご利用明細票を大会受付へご持参下さい。

(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付き ATM でもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこと、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

参加申込記入例

ご依頼人・通信欄	おとこと・おなまえ	フリガナ	姓	名	TEL	年齢・性別	参加コース	参加料区分
①	小倉 太郎	(フリガナ) コクラ タロウ	TEL (093) 000-0000	60才 男	50km	中津市役所発	3,000円	
					20km	苅田町役場発	2,000円	
					10km	下曽根駅南口発	1,500円	
②	小倉 花子	(フリガナ) コクラ ハナコ	TEL (093) 000-0000	60才 女	50km	中津市役所発	3,000円	
					20km	苅田町役場発	2,000円	
					10km	下曽根駅南口発	1,500円	
参加料合計	3,000円× 1人 3,000円		日 附 印					
	2,000円× 人 円							
	1,500円× 1人 1,500円 通信欄							

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 福第13361号) これより下部には何も記入しないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

●住所・氏名は、楷書ではっきりとご記入ください。特に、アパート等の名称は、確実にご記入ください。●必要事項に○をつけてください。



北九州-中津 ウォーキング大会2017



主催 北九州市、中津市

共催 直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、戸屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町、吉富町

「北九州-中津ウォーキング大会」を今年も開催します。
秋のウォーキングでさわやかな汗を流しましょう！

今回は、中津市からスタートし、ゴール地点の勝山公園を目指します。中津市にある北九州市の水源「耶馬溪導水」の長い距離を体感することで、水の大切さを考えてみませんか？



2017/
10.14 土 SAT



スタート

- ① 50kmコース [3,000円] 7:30 中津市役所 [中央公園グラウンド]
- ② 20kmコース [2,000円] 10:00 苅田町役場 [駐車場]
- ③ 10kmコース [1,500円] 13:00 下曽根駅南口 [(株)アステム駐車場]

ゴール

勝山公園 (北九州市小倉北区)

予定時間

7:30~19:00

申込期間

8月7日(月)~10月6日(金)
※事前申込制(当日参加料 500円増)
※小学生以下無料

お問い合わせ

北九州-中津ウォーキング大会実行委員会

TEL&FAX 093-583-8201
(お問い合わせ時間(土)(日)(祝日・祭日)を除く、10:00~17:00)

メール knwalking2017@mail2.city.kitakyushu.jp

H P http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/sk00900000.html



お問い合わせメール



大会HP



ウォーキングコースマップ Walking course map



コース種類

	50kmコース	20kmコース	10kmコース
受付時間	6:30~7:20	9:00~9:45	12:00~12:45
参加料	3,000円	2,000円	1,500円
スタート	7:30	10:00	13:00
スタート場所	中津市役所 (中央公園グラウンド)	苅田町役場 (駐車場)	下曽根駅南口 (株)アステム駐車場

(受付終了後、準備体操・出発式をおこないます)

ゴール場所: 勝山公園大芝生広場

参加申込みのご案内

■ 大会参加 事前申込期間 2017年8月7日(月)~10月6日(金)

参加登録証は発行いたしません。必ず振込み用紙の受領証またはATMご利用明細票を大会受付へご持参下さい。

大会当日の参加申込受付は、直接会場にて行います。(事前参加料の500円増)

電話によるお問い合わせは、(土)(日)(祝・祭日)を除く、10:00~17:00とさせていただきます。FAXは日時制限はありません。

参加資格

大会の決まり、ウォークマナー(特に交通ルール)を守れる人で、国籍、年齢、性別は問いません。ただし、小学生以下は保護者、歩行に障害のある方は介助者の同行が必要です。

参加登録

参加料を払込まれましたら登録完了です。なお、小学生以下は無料ですが、登録は必要です。(ゼッケンは支給しますが記念品はありません)

参加料

50kmコース3,000円、20kmコース2,000円、10kmコース1,500円(当日参加料 各500円増)、小学生以下無料

●当日申込は、配布品が不足する場合がありますので、事前申込にご協力ください。
※参加費には配布品、コース地図、完歩証、及び傷害保険料を含みます。
※昼食弁当は、各人でご用意ください。※参加取り消しの場合、参加登録費は返却できません。

IVV(国際市民スポーツ連盟)認定

ゴール会場の認定コーナーにて、ゴール後、IVVパスポートに貼る認定印を印刷した認定用紙(無料)をお渡しします。パスポートはセット販売200円です。

北九州健康マイレージ

ゴール後、希望者にポイントシールを配布します。(無料)

参加申込み方法(中止の場合、前日の18:00までに大会HPでお知らせいたします。)

大会申込に際して、参加者は下記の申込規約に同意の上、払込取扱票に記名ください。

申込規約

- 主催者は疾病や紛失、その他の事故に際し、応急処置を除いて一切の責任を負いません。
- 自己都合によるキャンセルの場合、返金はできません。
- 地震・風水害・事件・事故等による中止の場合、参加料の返金は一切行いません。
- 前記又は過剰入金・重複入金の返金はいたしません。
- 大会中の写真・記事・記録(において氏名、年齢、性別、記録・肖像等の個人情報)が、テレビ・新聞・雑誌・インターネット・パンフレット等に報道・掲載・利用された場合、その掲載権と使用権は主催者に属します。
- 本大会は国内の関連するすべての法律を遵守し、実施されるものとします。

払込取扱票(裏面の記入例をご参照ください) 北九州-中津ウォーキング大会2017 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/sk00900000.html>

- 氏名住所他、必要事項を記入して、最寄りの郵便局よりお振込ください。●この用紙は2名までご記入いただけます。3名以上・団体申し込みは、通信欄に他○名と書き、必要事項を記入した参加者一覧をFAXまたはメールにて送信してください。参加費は代表者名にて、お振込みください。(参加者一覧のフォームは、北九州市上下水道局のHP内の「北九州-中津ウォーキング大会2017」からダウンロードできます。)
- 小学生以下は無料ですが、登録は必要です。(ゼッケンは支給しますが記念品はありません)

参加登録証は発行いたしません。必ず振込み用紙の受領証またはATMご利用明細票を大会受付へご持参下さい。

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00 福岡 口座記号番号 017502 金額 167842 料 金 備考 北九州-中津ウォーキング大会実行委員会 加入者名 お名前(フリガナ) TEL 年齢・性別 参加コース 参加料区分 ① 50km 中津市役所発 3,000円 20km 苅田町役場発 2,000円 10km 下曽根駅南口発 1,500円 ② 50km 中津市役所発 3,000円 20km 苅田町役場発 2,000円 10km 下曽根駅南口発 1,500円 参加料合計 3,000円 × 人 円 2,000円 × 人 円 1,500円 × 人 円 通信欄 日 附 印		口座記号番号 017502 金額 167842 北九州-中津ウォーキング大会実行委員会 加入者名 お名前 振替払込請求書兼受領証 記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押してください。 料 金 円 備考	

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号 福岡13361号)
これより下部には何も記入しないでください。

広域連携の取り組みについて

1 概要

- 上下水道事業は、全国的に「人口減少や節水機器の普及による料金収入の減少」、「施設の老朽化に伴う更新需要の増加」、「人員の削減や団塊世代の大量退職による技術力の低下」など様々な課題を抱えており、各事業者単独では解決が図れない課題も多い。
- 本市は、**中期経営計画**（H28.4）で、広域連携は地域貢献に繋がることから、本市の技術やノウハウを活用し、ともにメリットのある方法で積極的に取り組むとしている。
- また、本市と**近隣 16 市町***は、人口減少・少子高齢化社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための圏域づくりを進めるため、平成 28 年 4 月、**連携中枢都市圏「北九州都市圏域」**連携協約を締結、上下水道分野も対象としている。

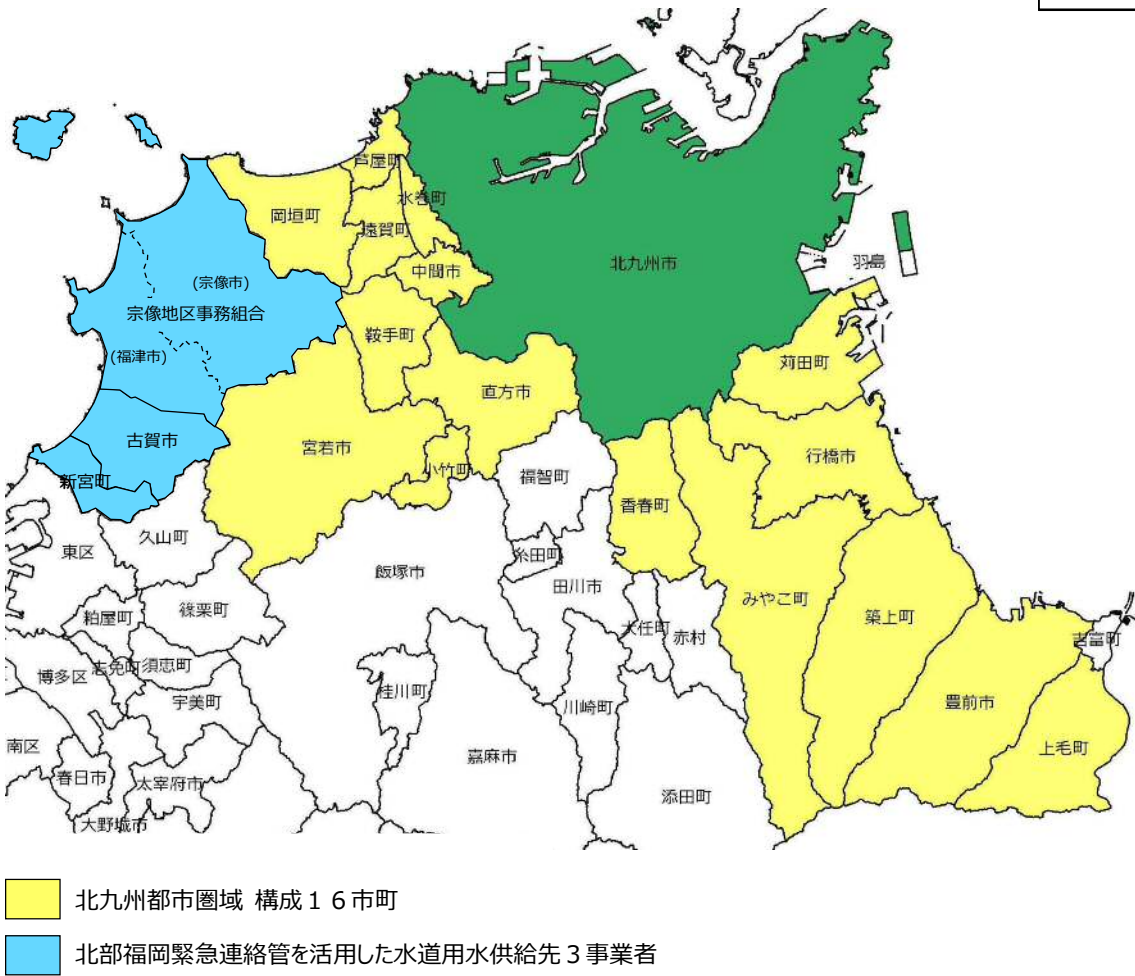
*〔直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町の 16 市町。本市は圏域の**中枢都市**となっている。〕

2 これまでの実績

<u>広域連携の状況</u> （5 市 9 町）	
水道事業統合：	芦屋町（H19.10）、水巻町（H24.10）
水道用水供給：	宗像地区事務組合〔宗像市（H23.4）、福津市（H28.4）〕、新宮町（H23.4）、岡垣町（H27.4）、古賀市（H28.4）、香春町（H29.4）
一部給水	：苅田町（H20.3）
原水供給	：田川地区水道企業団〔田川市、川崎町、糸田町、福智町〕（H13.3）
施設の共有	：下関市（H18.3）（※水道の緊急連絡管）

<u>水道技術研修等</u> （延べ 57 人、5 市 8 町 1 組合）	
H26：	12 人、1 市 4 町 1 組合（豊前市、岡垣町、香春町、みやこ町、築上町、宗像地区事務組合）
H27：	16 人、2 市 4 町（豊前市、中間市、岡垣町、香春町、苅田町、築上町）
H28：	11 人、3 市 4 町（行橋市、豊前市、中間市、鞍手町、香春町、苅田町、築上町）
H29：	18 人、3 市 6 町 1 組合（直方市、行橋市、宮若市、岡垣町、苅田町、みやこ町、上毛町、（↑各年度とも延べ人数） 築上町、宗像地区事務組合、添田町）（H29.7 月末現在）

<u>調査・検討など</u>	
H28：	上水道…広域連携可能性調査を実施。対象は、本市の水道施設に近接する 2 市 2 町 1 組合（直方市、中間市、岡垣町、苅田町、宗像地区事務組合）。
	下水道…国土交通省「下水道広域化に係る検討業務」のモデル地域として北九州都市圏域が選定され、圏域 16 市町との勉強会を 3 回実施。



3 連携中枢都市圏ビジョンの取組

- 連携協約に基づいて推進する取組をまとめた「**連携中枢都市圏ビジョン**」において、「上下水道事業の発展的広域化の検討」や「水道技術研修の実施」を掲げ、推進している。
- 第 1 次改訂版（平成 29 年 5 月）に調査・検討や勉強会開催を具体的に示し、実施中。

4 今後の展開

- 連携中枢都市圏「北九州都市圏域」の中枢都市として「上下水道事業の発展的広域化の検討」を以下のように進め、合意形成が図られたものから実現に向けて取り組んでいく。
 - ・勉強会などの機会を通して、それぞれの事業者の課題やニーズの把握を行うとともに、広域連携の可能性について検討を推進。
 - ・上水道分野では、本年 11 月に開催する「水道広域セミナー」に向けて、7 月に 17 水道事業者による「勉強会」を開催し、各水道事業者が抱える課題や今後の進め方等について意見交換を行った。
 - ・下水道分野では、引き続き勉強会を開催し、国と連携しながら、具体的な方策について検討を進めていく予定。

九州北部豪雨に伴う上水道の復旧支援について

1 朝倉市

河川氾濫などにより杷木浄水場の機能が保持できなくなり、杷木地区（給水戸数：約 1,600 世帯）が断水。朝倉市から日本水道協会福岡県支部長の本市に支援依頼があり、7 月 6 日から 8 月 1 日まで支援活動を行った。

（１）支援内容

- ①浄水場の復旧 : 移動式浄水設備を設置し、配水池に送水して、給水を開始。
併せて既設浄水場の一部を仮復旧し、浄水能力 (1,800m³/日) を確保 (平均配水量 1,400m³/日)。浄水処理等のアドバイス及び監督業務。
- ②応急給水 : 避難所にて給水活動を実施。【加圧式給水車 (1.5 t) 1 台、給水車 (2 t) 1 台、仮設水槽 (1 t) 2 基、給水袋 (6 L) 4,600 個】
- ③配水施設の復旧 : 4 ブロックに分けて通水、管路の洗管作業を実施。漏水確認・修繕及び仮設管路等を整備。
- ④水質試験 : 水道法に基づく 51 項目の水質試験を実施。

**※ 7 月 27 日の水質基準適合確認を受けて、7 月 28 日に朝倉市長が
飲用可能宣言を行った。(約 1,400 世帯の断水が解消)**

- （２）支援期間 平成 29 年 7 月 6 日～8 月 1 日（完了）
- （３）派遣人員等 延べ 418 人日
(職員：348 人日、管工事協同組合：70 人日)
- （４）今後の見通し
 - ・ 応急給水は、8 月 1 日に支援を完了。
 - ・ 本格復旧に向けて、人材の派遣要請があれば別途検討する。

2 東峰村

土砂崩れ等により配水管等が破損したため、福岡県から日本水道協会福岡県支部長の本市に支援依頼があり、応急給水や断水解消のための仮設管路の整備及び水質検査を支援。

- 小石原地区 : 応急給水の実施【加圧式給水車 (1.5 t) 1 台、仮設水槽 (1 t) 1 基、給水袋 (6 L) 600 個】
仮設管路の整備 (φ40mm L=800m)

- 宝珠山地区 : 配管状況調査及び水質検査、(応急給水は自衛隊で実施)

- （１）支援期間 平成 29 年 7 月 7 日～7 月 13 日
- （２）派遣人員等 延べ 53 人日 (職員 29 人日、管工事協同組合：24 人日)

3 添田町

水源池の電源が喪失したため、添田町から日本水道協会福岡県支部長の本市に支援依頼があり、電源復帰までの間、配水池へ直接上水を補給。【加圧式給水車 (1.5 t) 1 台】

- （１）支援期間 平成 29 年 7 月 6 日（完了）
- （２）派遣人員等 延べ 4 人日 (職員のみ)

4 その他支援

市内の公的賃貸住宅へ無償で一時的に緊急避難として入居する方に対し、水道料金及び下水道使用料を全額免除する。

九州北部豪雨に伴う上水道の復旧支援について
朝倉市、東峰村、添田町

